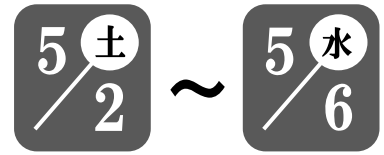




ライバルに  
差をつけよう!



# ユリウス GW集中講座

新規入会募集中! 入会の方に | コマ無料授業実施!

GWの日能研休校期間に苦手な単元を克服しよう!!

入試に出やすい!

## GWに克服しておきたい苦手単元ランキング!



### 第1位 計算(小数・分数)

▼ 復習にオススメの単元(分数)

テキスト	回数	単元
5年前期	第22回	分数と約分・倍分
5年前期	第23回	分数とたし算・ひき算
5年前期	第24回	分数とかけ算
5年前期	第25回	分数とわり算
5年前期	第26回	分数と四則混合計算・逆算

5年前期の内容においてもっとも重要単元と言えるのが計算分野です。

これ以降のカリキュラムでは計算単体の単元はないため、少なくとも計算のやり方や逆算の方法については習得しておきましょう。

また、やり方はわかってもテストでミスをしてしまう方も多いため、「式を正しく書く」「数字を見やすく丁寧に書く」ことの重要性を理解できると、今後のテストの点数が安定してくるようになります。



### 第2位 立体図形

立体図形は入試問題の大問に出題されることが多く、基礎から応用まで幅広い理解が求められる単元です。5年生ではとにかく基本となる公式を定着させることが重要です。

※平面図形はGW明けの本科授業で扱います。

▼ 復習にオススメの単元

テキスト	回数	単元
4年後期	第17回	立体図形と体積
4年後期	第18回	立体図形と表面積



### 第3位 天体

理科は普段時間を取って学習することが難しいため、長期休みには是非とも触れておきたい科目です。4年後期に学習した、天体の分野は苦手とする方も多いため、是非この機会に復習しておきましょう。

▼ 復習にオススメの単元

テキスト	回数	単元
4年後期	第2回	太陽の動き
4年後期	第3回	太陽の高さと地温・気温のつながり
4年後期	第4回	夜空をいろいろる星
4年後期	第5回	夜空を動く星
4年後期	第6回	満ち欠けする月

## ◆ GW集中講座 設置講座一覧

	講座名	科目	コマ数	使用テキスト	講座概要
①	小数計算の攻略	算数	全4コマ	4年後期	小数の四則計算・逆算
②	分数計算の攻略	算数	全5コマ	5年前期	分数の四則計算・逆算
③	立体図形の攻略	算数	全2コマ	4年後期	立体図形の体積・表面積
④	文章題の攻略	算数	全3コマ	4年後期	割合・線分図の利用・つるかめ算
⑤	天体分野 総復習	理科	全5コマ	4年後期	月・星・太陽
⑥	電流 総復習	理科	全1コマ	4年後期	電流の回路
⑦	テスト振り返り	4科目	応相談	応相談	1コマあたり2教科分が目安になります。
⑧	オーダーメイドコース	4科目	応相談	応相談	面談実施の上、受講内容を提案します。

○ ユリウスの個別指導は1コマ=90分指導です。

○ 「1:1指導」は「指導者1名⇔生徒1名」、「1:2指導」は「指導者1名⇔生徒2名」の指導です。

## ◆ GW集中講座 費用 <指導1コマ90分あたりの価格>

GWのみご通室の場合

1:2指導	1:1指導
8,250 円	15,620 円

GW以降定期的に通室の場合、  
通常生価格にて割引いたします!

○ 上記受講料の他、事務手数料(¥5,500)を頂戴します。

○ 費用はコンビニでのお支払いになります。ユリウス本部よりご自宅に払込用紙を郵送いたします。

## ◆ お申込みの方法と受講までの流れ

※日曜および4/29(水)~5/1(金)は休校となります。

- ① お申込 **期日：4/25(土)**    ② 面談実施    ③ 受講スタート!

- ・ユリウスにてお申込用紙を提出
- ・ユリウスに直接お電話 or FAX

現在の学習状況を確認の上、指導内容を決定し、今後の学習についての進め方をご提案いたします。

- ・筆記用具/ノート/テキスト
- をご持参のうえ、授業開始時刻までにお越しください。

## 入会者限定特典 ▶ 「ユリウス通常指導練習会」実施

今回の「GW集中講座」は、お子様の苦手な単元を克服するための短期講座です。  
成績向上のためには、毎週の授業に対して、正しく学習を進めることが一番重要です。  
ぜひ週1回、ユリウスを活用して日能研の復習を効率的に進めていきましょう。

【授業の流れ】(1:2指導90分) ※GW期間前後の通常授業の期間での実施となります。

- 1) 前回試験の結果に関して、指導者からコーチングをもとに、重要問題のやり直しを行います。
- 2) 今回のプログラムの栄冠の道がしっかり進められているか確認します。
- 3) 質問対応を行います。ただ答えを教えるのではなく、授業を思い出し、自分で考えることを重視します。
- 4) お子様が見つけない理解不足の問題を見つけ出し、類題を使って解消していきます。